

# ネパール復興支援ボランティア&ホームステイプログラム

今後、参加される方のために、参加レポートにご協力ください。

以下、ご記入のうえメール添付、または郵送にてCECまでご返送下さい。

ピンク色で書いてあるサンプル部分は、該当項目を残してご記入下さい。

また、お写真も数枚別メール添付にてお送りいただけますと有難いです。

参加期間 2018年3月26日 ~ 2018年4月4日まで ( / 週間)

## 参加の動機

海外ボランティアに参加したことから。ネパールについて知れたことから。大学で東日本震災のボランティアに参加して、地域・国と災害について考えてみたことから。

## ホームステイ滞在に関して

家族構成: (お父さん) (お母さん) 子供(2)人 その他(おじいさん、おばあさん)

ペット: 有( ) (無)

食事: (非常においしかった) おいしかった 普通 おいしくなかった 食べられなかった

生活形態について(日本での生活と較べて異なる点、注意点など):

日本のように水を流し込む使用はできません。トイレも手を洗ったリ、歯をみがいたリした生活排水を流して流していました。なお、トイレにはトイレトペーパーは設置してありません。(日本から持参して行きました。)

感想:

ステイさせて頂いたお家の方がとても親切な方でした。滞在中、体調を崩した時があったんですが、ご飯のことや具合を心配に配慮して下さいました。また、食事とても美味しく、いつもあつちう間に食べさせてくれました。家族の方も私に会うとにこやかにあつちうとしてくださり、家族のような温かさで迎え入れて下さったので、毎日楽しかったです。

## ボランティア活動に関して

どんな活動をされましたか:

地震で崩壊してしまったお家の水を手押車での運搬作業をしました。(＠ブカマニ村)

活動内容と感想(活動期間、回数、時間等も併せてご記入下さい):

1週間の参加でしたので、ボランティアとした日は2日間でした。また、もう1日ボランティアとする予定でしたが、体調不良のため参加できませんでした。時間はAM11:30~PM2:30くらいまでの計3時間でした。日本に行く前は、水が散らかるとはかなり進んでいるかと思いましたが、あまり進んでいない所も多く、もとの力と時間が必要であると思いました。

ホームステイ先からボランティア活動先までの交通手段は:

バスで行きました。時間はだいたい30~45分くらいです。

## 持ち物に関して

日本より用意し、役に立ったものは：

汗ふきシート、除菌シート、マスク、ビニール袋、ストール。(汗ふきシートはソファに入らない時に便利です、除菌シートは出発でご飯を食べる前においたり、何か汚い物が来たときにおくのに便利です、マスクは、ネパールは暑くはありますが、必要です、ビニール袋は多く持てました、具合が悪くなったとき、ゴミを捨てる時などに便利です、ストールは、砂ほり対策、他、暑く寒く、調節に便利でした)

その他、便利だと思うものは：

スライスに今まで滞在してきた方ガートと書いていたのですが、その中に便利なものとして書いてあったのは、水のいらぬシャンプー、下着止めなどでした。また個人的にはうが、薬、消息スプレー、手のピカピカジェル、車の酔い止め、小まかにためるダウナーなどがあると良かったと思います。(ナガルコットは高地なので山に登ります、もちろん車ですが、くねくね道が多いため酔い止めがかなり必要の方は持っていた方が良かったと思います。また、寒いので、ダウナー、温かくするものがあると良いと思います。)

## バクタプル観光に関して (参加者のみ)

感想：

バクタプルは、カトマンズやパタンなどの他の地域よりも、古い街並みがそのままだ、あるといった感じで、古の趣を感じさせるような場所でした。個人的にはニヤタポラ寺院が良かったです。また、地震被害がわかりやすく見えるのが、この場所だと思えます。崩壊していたり、しかなかった寺院も多く、少し複雑な気持ちになりました。

## ナガルコットからの朝日鑑賞に関して (参加者のみ)

感想：良かったです。ヒマラヤは残念ながら見えませんでした。ご来光が見えたときは感動して、ネパールに来て本当に良かったなという気持ちになりました。

## カトマンズに関して

お勧めの観光スポット、お店、レストラン等があればお知らせ下さい：

タリバール広場、タリッシュ・ハル、クマリア館、ハマヌンドカ、カーラ・バイヤブの像など

反対にお勧めできない場所等があれば、その理由もお知らせ下さい：

特にありません。

カトマンズ以外の街を訪れた方は、下記の質問にお答えください

どちらに行かれましたか：

パタン、パシュパティナト

交通手段、かかった時間、費用は：

1.パタンはスライasetで頂いたお宅から5分くらいでした。(徒歩)

2.パツ2.1.パーティナートは現地コーディネーターの方にバイクで運ばせて頂戴しました。約20分くらいです。(バイク)

感想：

1.パタンは、それぞれの建物の入ま、彫刻等が反復してました。とても美しい場所です。外国人観光客も沢山訪れてました。

2.パツ2.1.パーティナートは入まなヒンウー教寺院という事で、ネパールの人の外からインド人も多々訪れてました。周辺には火葬場があり、とても神聖な場所であると感じました。ネパールの宗教観や死生観を学ぶことができました。

ご参加頂いた時期に関して

気候、お天気はどうか：

朝は10℃くらい、日中は25℃近く、夜も朝と同じくらいでした。(朝、夜と日中で寒暖差が大きいという印象でした。夜中に雨が降ることも多く、日中は大体晴れてました。

服装は：

両国既成の服に、半そでTシャツの上にカーディガンかパーカーを1枚お持ちしました。

1.はまき物については、スニーカー、ズボンなどは持参してました。

ネパールの物価に関して

ご参加時のレートは： 1ルピー=約( 1, 1 )円

何か購入されたものがあれば参考までお知らせ下さい：

(例：ミネラルウォーター1L 20ルピー (約30円)、切手 30ルピー (約45円) 等)

ミネラルウォーター1L = 20ルピー

お小遣いとしてどのくらい用意され、実際に使いましたか？

1万円を持って行きました。5000円を生活・観光費に、残りの半分をお土産用に使いました。

予防接種に関して

渡航にあたり予防接種を受けましたか： はい  いいえ

はいと回答された方は、その種類をお知らせ下さい：

今回のご参加を通じて、最も印象に残っていることや今後の参加者へのアドバイスなど自由にお書きください。\*ネパールで撮られた写真をお貼り頂く際は、説明のコメントもお願いします

私は今日のこのイベントプログラムに参加して、ボランティアであるというよりも、現地の人々の生活や文化の中で生活をしたという経験としました。それはボランティアが不十分だった、ということではありませぬ。復興支援という活動を通じて、ネパールが地震後に抱えている問題点だったり、7年前に同じく大きな地震が起きた日本と比較することで、地域・国と災害の共通点や差異点について、深く考えることが出来ました。しかしながら、今回は私がネパールに行くというのも初めてということもあり、現地の人々との交流や、文化理解を通じて学ぶことが非常に大きかったです。また、その中で人々の日々の温かさや、宗教観、価値観など、様々なことに触れることが出来ました。そして日本人が普段忘れている大切なことや、当たり前であると思われている環境は決してそうではないことなどを滞在中に気付かされました。私が滞在中に印象に残った出来事をいくつか挙げてみます。1ヶ月は、ネパールに行く、4月くらいした月の夜、停電が起きました。ゲストルームが3Fだったので、いつもご飯を食べていた1Fに降りました。すると、お母さんがろうそくを灯して私に日本茶を入れてくれました。その時に震災が起きた時の記憶、月が見えない人の話など、色々なことを話しました。私たちが普段の生活の中で、当たり前だと感じていることは決してそうではないこと、また、そんな状況が続いていてもお母さんは、これでもおくと良くやったのF、と笑顔と浮かぶ顔を見て、日本とは違うネパールの人のおしゃべりや寛さ、やっぱりこの時間の流れを感じ、私たちが忘れかけていたものがあると思えました。2ヶ月はパツパツリートの寺院と周辺の火葬場を見た時です。日本では、こうした状況を見ることはできません。小学生も、生死は紙一重であること、普段は意識するところのない「死」というものに対して向き合うネパールの死生観、死は終わりではないというその宗教観は、これから考えさせられることが多くありました。また最後に、滞在中に出会ったネパールの人たちの温かさ、心打たれました。ネパール到着初日の日には、現地のコーディネーターと見つめ合うのに困ると、日本語の言葉をネパール人が、大丈夫ですか？もし良かったら、電話してあげましょうか？と聞くことがあったり、毎日おうちに帰れば「おばあちゃん、チャ(Tea)?」と聞くミルクティーを入れてくれたり、町にいた子どもたちが話しかけてくれたり、体調が良くなった時にはボランティアの代わりに様々な活動を見つけてくれたり、最後の日にはお母さん、マドニからいつでも戻ってほしい、と聞くことがあったり、初めにネパールに行ったのに、もうお家に帰りたいところがある方が多い人たちがいたり、本当に行って良かったと思えました。これから参加される方たちに向けて伝えることはたくさんあります。もし参加できる機会・環境があるのなら、ぜひ多くの方に飛び込んでほしいです。行ってしまえば、良意味は何とかなります。(笑)そして日本では得ることは出来ませんが、経験が出来ます。挑戦に失敗は怖いと思わないで、頑張ってください！お写真のデータの容量が大きくなる場合は、圧縮して頂くか、何度か分けてメール添付でお送り下さい。

最後に、あなたのことをお知らせ下さい

お名前(イニシャル、ニックネーム可): M.G

性別: 男性  女性

ご年齢: 10代  20代  30代  40代  50代  60代以上

ご協力有難うございました。今後のプログラム運営に役立てさせていただきます。